

楽しさ自給率の高いまちへ

だいせん

広報
DAISEN

5
・
2024
No.249

特集 『自分たちの提案でまちを変える』

中学生議員が熱弁

や
だ
し
た
ち
が
こ
の
ま
ち
を
創
る

令和6年度4月新規採用および派遣職員

「ただいまより、大山町中学生議会を開会します。ただいまの出席は11名全員であります。」

3月9日（土）、大山町議会議場で大山町中学生議会が開会しました。

子どものやってみたいを実現

大山町では子どもと大人の世代を超えた対話を通じ、子どものやってみたいを実現する取り組みとして「テゴテゴプロジェクト」を実施しています。

今回は中学生が日頃から感じている地域の課題や身近な困りごとなど

を中学生ならではの視点で問題提起し、議会に提案しました。

定例議会に沿って

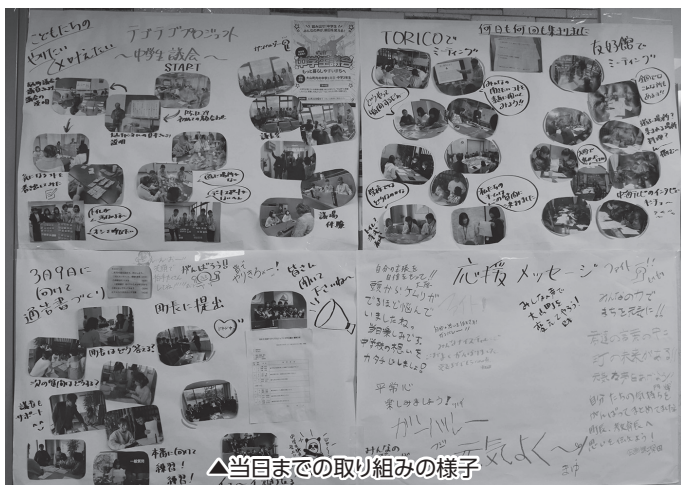
当日は、議長が途中で交代すること以外は、おおむね通常の定例議会に沿って議事を進行之ました。会期は1日限りで矢田さん（大山中学校1年）と二宮さん（中山中学校2年）の2人の議長が交代で議事を進行之、一般質問に町長や教育長が答弁に立ち、約2時間に及ぶ議論が展開されました。

自分たちの提案で

まちを変える

中学生議員が

熱弁



△当日までの取り組みの様子

参加した中学生に聞いてみた

中学生議会に参加した理由は？

- ・自分たちで大山町をもっとより良い町にしたいと思い、自分にできることは何かを考える良い機会だと思ったから。
- ・もっと中学生に寄り添った町にしたいから。
- ・自分の思いや考えを町長や教育長に伝える良い機会だと思ったから。
- ・中学生の自分たちが町を変えることができたなら凄いことだし、面白いと思ったから。

実際参加してみた感想は？

- ・準備が大変だったけど、終わった時の達成感や喜びが大きく、参加して良かった。
- ・自分の意見を伝えることの大切さを感じた。
- ・大山町の現状や課題を見つけたり調べることで、更に大山町のことを知ることができて良かった。
- ・議員の仕事は大変だと思ったが、魅力もたくさんあることが分かった。
- ・他の中学校の人と一緒に取り組めて交流ができて良かった。





中学生議員からの一般質問

議会当日、中学生議員から通告された一般質問は6つ。中学生が求める交流の場の提案や学校生活で感じていることなど中学生ならではの視点に立った内容でした。



質問事項

1	中学生が近場で楽しい体験ができる機会がほしい
2	友好館に月に1回貸切DAYを作って欲しい
3	大山町の中学生の交流の場を
4	中学校のトイレ環境の改善について
5	中学生のお助け隊をつくろう
6	英語を身近に感じるためには

※一般質問に対する答弁内容などの詳細につきましては5月発行の議会だよりをごらんください。

町長や教育長へ伝えたいこと

- ・自分たちの意見を聞いてもらえて良かった。
- ・今回提案したことを1つでも多く実現してほしい。

今回、一般質問で議論したことについては、今後の町政や教育に生かしていきます。

能登半島地震被災地に職員を派遣しました

令和6年元日午後4時過ぎ、石川県能登地方を中心に、最大震度7の地震が発生しました。

震源地の石川県や周辺の県を合わせて200人を超える死者や1,300人もの負傷者、住家の全壊は約9,000棟で、特に能登半島周辺では、道路、上下水道などのインフ

ラに甚大な被害があり、住民の生活は一変しました。

鳥取県では地震発生直後から被災地支援に素早く動き、職員派遣や避難所運営に必要と思われる物資などの供給を行っています。

大山町でも鳥取県と同一歩調を取り、町職員を1月中旬から石川県志賀町（しかまち）に、3月末までに延べ5人を派遣しました。

3月下旬、支援活動を行った5人の職員に集まってもらい、支援活動の内容、本町で大規模な災害が発生したときに、町や住民に求めたいことなどを話し合い、今後の防災への取り組みに向けての座談会を行いました。

座談会から

○米原主幹

（配給物資の仕分けなど）

発災して間もなかったのですが、組織が動いていた。仕分け作業に経験豊かな組織からのアドバイスが役に立った。



○松井主幹

（家屋被害認定調査）

町外から来る支援者が活動しやすい環境を確保することが求められる。

○金田主幹保健師

（避難者の健康管理）

発災直後、汚水を下水道に流すと逆流する恐れがあり、そこから感染症が広がるため、下水処理場等の被害状況が確認できるまでは、汚水を下水道に流さない。



○片山主幹

（配給物資の仕分けなど）

配給物資が次々と搬入され、体育館などに使用されない物資が山積みになっていた。どう処理するのが課題。



○小松主任

（配給物資の仕分け、被災家員の撤去）

配給での食事は味や栄養が偏りがちでバランスが悪い。



命を守る行動を身につけよう

揺れを感じたら（緊急地震速報が流れたら）

○家の中では

(1) ダンス、冷蔵庫など倒れやすいものから離れる

(2) ドア、引き戸を開ける

(3) 頭を守る

(4) コンロなどの消火は揺れが収まってから

(5) 家から避難するときは電源ブレーカーを切る。

○屋外では

(1) 揺れを感じたら、周りから落下物の恐れがない場所に移動する。

(2) 津波注意報、警報が発表されたら、海岸付近にいる場合は、速やかに高台に避難する。



令和7年4月採用予定 大山町職員採用資格試験

これからの大山町を担うのはあなたです

令和7年4月1日採用予定の大山町職員採用資格試験を次のとおり行います。

1 募集職種・採用予定者数・受験資格

募集職種	採用予定者数	受 験 資 格
一 般 事 務	3名程度	・平成元年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人で、高等学校在校生でない人
保 育 士	若干名	・平成元年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人（令和7年3月31日までに取得見込みのある人を含む）
保 育 士 （社会人経験枠）	若干名	・昭和54年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた人で、保育士の資格を有する人（令和7年3月31日までに取得見込みのある人を含む）
保 健 師	若干名	・平成元年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有する人（令和7年3月31日までに取得見込みのある人を含む）
土 木 技 師	若干名	・平成元年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人で、高等学校在校生でない人

※住所要件なし

2 申込方法・受付期間

申 込 方 法	インターネット電子申請による申込 右記 QR コードをスマートフォン等で読み込むか、とっとり電子申請サービス（大山町）にアクセスして必要事項を入力してください。 申込 URL https://apply.e-tumo.jp/town-daisen-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=11616	
受 付 期 間	令和6年4月17日（水）午前9時～令和6年6月20日（木）午後3時 ※インターネット申込のみ	

3 採用試験日程

《第一次試験》

日時 令和6年7月14日（日）

場所 伯耆町（予定）

《最終試験》 日時 令和6年9月22日（日）

《第二次試験》

日時 令和6年8月16日（金）

また、令和7年3月に卒業予定の高校新卒者向け試験を9月下旬頃実施予定です。（募集開始は7月1日）

4 問い合わせ先

総務課 ☎0859-54-5201

詳しい試験案内は大山町ホームページに掲載しています。

～暮らしやすいまちづくり～

令和6年度 一般会計当初予算 総額 114億6千万円

令和6年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。

まちづくりの基本となる一般会計の予算額は、昨年度から2億4千万円増の114億6千万円となりました。

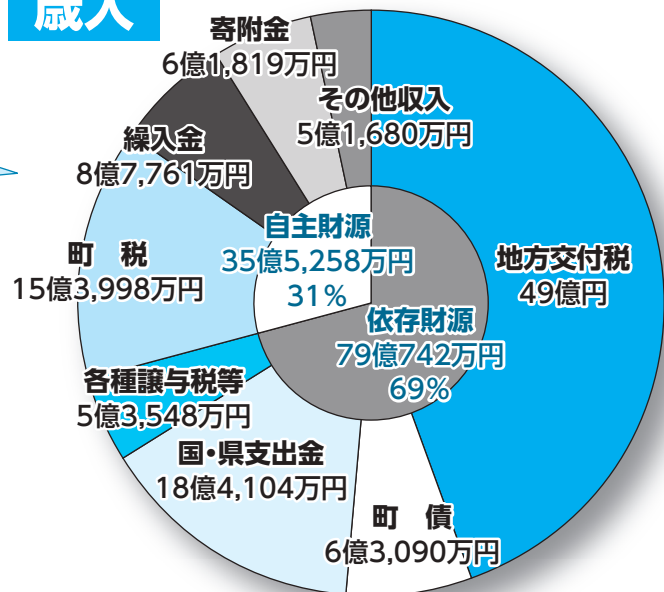
令和6年度は、次の8つを重点施策として、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

- ① 予測困難な時代を生き抜く経済産業の活性化
- ② 明日の大山町を築く子育て・教育・生涯学習環境の充実
- ③ 地域が再生する賑わいと活力の創出
- ④ 大山町の特色を生かしたアウトドアライフ構想の推進
- ⑤ 重層的支援体制による健康・福祉の充実
- ⑥ 公共施設等のインフラの計画的整備
- ⑦ ふるさと応援基金の積極的活用
- ⑧ DX推進等による業務改善と人材能力開発の充実強化

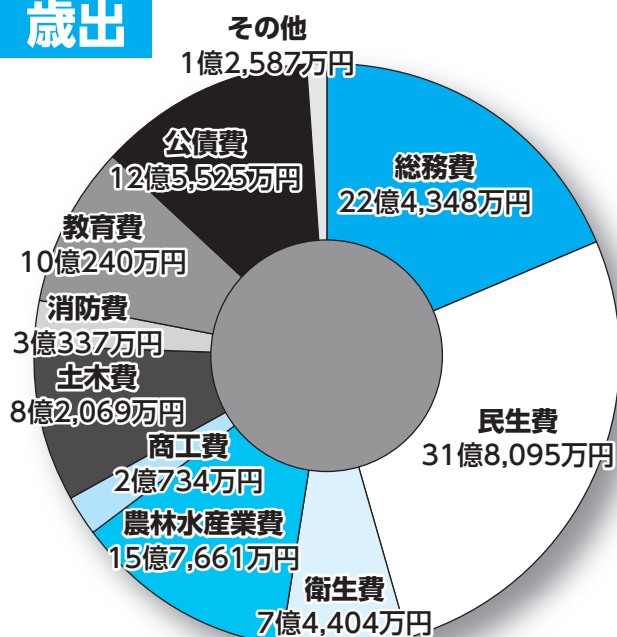
(歳入の特徴)

- ・地方交付税等の依存財源が全体の約7割を占めています。
- ・ふるさと応援寄附金は6億円を見込んでいます。
- ・町債は、元金返済額以下に抑え、町債残高の抑制に努めています。

歳入



歳出



(歳出の特徴)

- ・総務費が、電子計算費などの増により、前年度比約1億5千万円の増となっています。
- ・民生費が、後期高齢者医療事業などの増により、前年度比約1億6千万円の増となっています。
- ・農林水産業費が、海岸保全施設整備事業などの増により、前年度比約1億9千万円の増となっています。

令和6年度当初予算



消防費
2万300円



農林水産業費
10万5,501円



総務費
15万126円

町民1人あたり
76万6,863円



教育費
6万7,077円



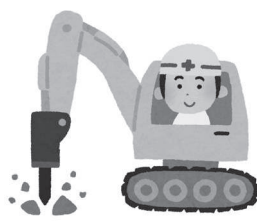
商工費
1万3,874円



民生費
21万2,858円



公債費
8万3,997円



土木費
5万4,918円



衛生費
4万9,789円

令和6年度の一般会計総額を令和6年3月31日現在の人口（※）で割ると、町民1人あたり**76万6,863円**となります。
※令和6年3月31日現在の人口：14,944人
お預かりした税金などを大切に使っていきます。

特 別 会 計

土地取得特別会計	52 万円
開拓専用水道特別会計	2,107 万円
国民健康保険特別会計	19 億 6,429 万円
国民健康保険診療所特別会計	3 億 3,529 万円
後期高齢者医療特別会計	3 億 1,302 万円
介護保険特別会計	23 億 2,177 万円
風力発電事業特別会計	3,967 万円
温泉事業特別会計	1,300 万円
宅地造成事業特別会計	113 万円
索道事業特別会計	2,425 万円
中山財産区特別会計	512 万円
上中山財産区特別会計	139 万円

下中山財産区特別会計	92 万円
逢坂財産区特別会計	71 万円

企業会計（水道事業）

3条収益的収入	3 億 4,666 万円
3条収益的支出	3 億 558 万円
4条資本的収入	4 億 2,428 万円
4条資本的支出	4 億 9,959 万円

企業会計（下水道事業）

3条収益的収入	7 億 4,805 万円
3条収益的支出	7 億 4,805 万円
4条資本的収入	6 億 2,871 万円
4条資本的支出	8 億 4,275 万円

令和6年度当初予算の詳しい概要については、町のホームページで見ることができます。 <https://www.daisen.jp/>

問 財務課 ☎ 0859-54-5200

令和6年度の重点事業

令和6年度当初予算に計上した
主な重点事業についてお知らせします。

予測困難な時代を生き抜く経済産業の活性化

起業支援補助金（地方創生推進事業） 1,501 万円

地域課題を解決するため、既存施設をリノベーションして創業する方に対して支援を行います。

親元就農者支援事業 940 万円

将来経営を継承する方に対する研修費用として、親元に対し最長2年間補助金を交付します。

大山ジビエレザー活用事業 90 万円

これまで廃棄されてきたイノシシの皮を革製品として利用することで、ジビエ資源の活用、地域循環型のジビエ振興を図ります。



▲リノベーションして創業した店舗

明日の大山町を築く子育て・教育・生涯学習環境の充実



▲ミッド・パシフィック・インスティテュートとの協定式

新入学応援ギフト 1,245 万円

令和7年4月に小・中学校に入学される児童・生徒の保護者に対しギフト券を贈呈することで、子育て中の保護者への経済的負担の軽減を図ります。

短期英語留学プログラム事業 971 万円

米国ハワイ州にあるミッド・パシフィック・インスティテュートへ中学生を派遣し、短期英語プログラムを受講することで英語力とコミュニケーション能力の向上を図ります。

リスキリング教育推進事業 297 万円

町民のスキルアップを図り就業等につなげ、大山町での暮らしを定着させ、魅力的な仕事ができる環境を構築します。

※リスキリング…新しい職業に就くために、あるいは今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得すること。



▲昨年度のドリームカーフェスタ

地域が再生する賑わいと活力の創出

移住定住促進事業 3,810 万円

移住定住を促進するため、住宅新築や空き家を購入して居住する方への支援を行います。

牛馬の聖地「大山」ドリームカーフェスタ負担金 160 万円

日本遺産・大山エリアの歴史文化のPRと観光活用の一環として、現代版「牛馬」としてドリームカーのイベントを開催し、往年の観光地としての賑わい復活に資する聖地化を目指します。

大山町の特色を生かしたアウトドアライフ構想の推進

アウトドアイベント補助金 460 万円

アウトドアライフ構想推進の一環として、町内においてアウトドアイベントを実施する事業者に対し、アウトドアイベント実施にかかる経費について助成します。

サイクルツーリズム推進事業委託料 200 万円

町有の自転車を活用したサイクリイベントを実施し、関係人口の増加を図ります。



▲自転車を活用したアウトドアアクティビティ



▲外出支援サービス

重層的支援体制による健康・福祉の充実

外出支援サービス事業 793 万円

要介護状態にある方等で、一般の交通機関を利用することが困難な方を対象として、移送用車両により利用者の居宅と医療機関との間を送迎します。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 668 万円

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、個別的支援や通いの場等への積極的な関与を行います。

公共施設等のインフラの計画的整備

定住促進住宅整備事業 3,922 万円

子育て世帯をターゲットにした地域優良賃貸住宅建設を民間資金を活用した PFI 事業にて行っていきます。

中山支所旧館解体事業 6,940 万円

大山町公共施設等総合管理計画を着実に実施するため、老朽化した中山支所旧館の解体を行い、駐車場として整備します。



▲中山支所旧館

ふるさと応援基金の積極的活用

ふるさと応援基金繰入金（歳入） 3 億 5,891 万円

ふるさと応援基金の活用方針として、前年度の積立額を考慮して積極的かつ着実に実行します。今年度は、54 事業の財源として活用予定です。

DX 推進等による業務改善と人材能力開発の充実強化

本庁舎内 LGWAN 端末の無線化事業 1,923 万円

本庁舎内の L G W A N 端末を無線で接続することにより、庁舎内であればどこからでもネットワークに接続でき、会議時等でもシステムの操作を行うことができるため、業務の効率化に繋がります。

「だいせん応援チケット」を配布します

物価高騰により負担増となった町民の暮らしの支援、事業者支援のため取扱店舗で使用できる商品券を発行します。

■配布する商品券（1人あたり）

商品券 5,000円分（500円券×10枚）

■商品券の使用目的

商品またはサービスのお支払い（飲食、宿泊等にも使えます）

■配布対象者

基準日（令和6年4月15日）に大山町の住民基本台帳に記録されている方。

■配布方法

5月以降順次「ゆうパック」で各世帯主宛てに、世帯人数分をお届け。

※不在票が投函されていた場合、希望日時などを手配し、直接お受け取りください。

■使用期限 令和6年8月31日（土）

※期限が近づくと券の使用が集中しますので、なるべく早めにお使いください。



■商品券が使えるお店

商品券の取扱店舗として、事前に登録された町内の事業所等

※取扱店舗の一覧はホームページに掲載しています。「だいせん応援チケット 取扱店舗」で検索してください。

■使用できない商品等

- ・公共料金又は公租課税の支払い（大山町ごみ袋の購入を含む）
- ・換金性の高い商品（商品券等）
- ・たばこ ・不動産取引 ・出資や債務
- ・仕入等の事業用取引
- ・公的医療保険、公的介護保険の自己負担部分
- ・その他本事業の目的に照らして不適切なもの

お食事やお買い物などに積極的に使っていただき、町内事業者の皆様を応援しましょう。

問 商工観光課 ☎0859-53-3110

町内の住宅に家庭用発電設備等を導入される方に補助を行います

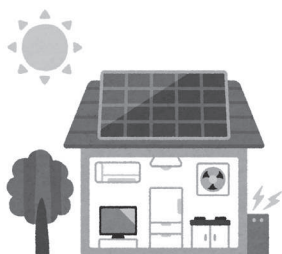
分散型のエネルギー供給構造の構築及び地球温暖化対策への貢献を図ることを目的に、町内の住宅に家庭用発電設備等を導入される方に補助を行います。

■対象者：町内に住所を有する者（町内に転入する者も含む）で、町内の住宅（店舗等と併用住宅を含む）に以下の家庭用発電設備等を導入する者

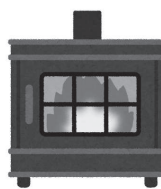
■対象設備及び補助額

- ・太陽光発電システム：本体費用及び設置費用の1/2（上限20万円）

※家庭用蓄電池等と同時に導入する場合は上限50万円



- ・薪ストーブ等：本体費用及び設置費用の1/2（上限50万円）



- ・家庭用蓄電池等（定置用蓄電池・電気自動車等充給電設備）：本体費用及び設置費用の1/2（上限50万円）

※対象設備には要件があります。

■申請期限：令和7年1月31日（金）まで

※設置工事着手前に申請が必要です。

詳しくは、大山町ホームページをご覧ください。まちづくり課までお問い合わせください。

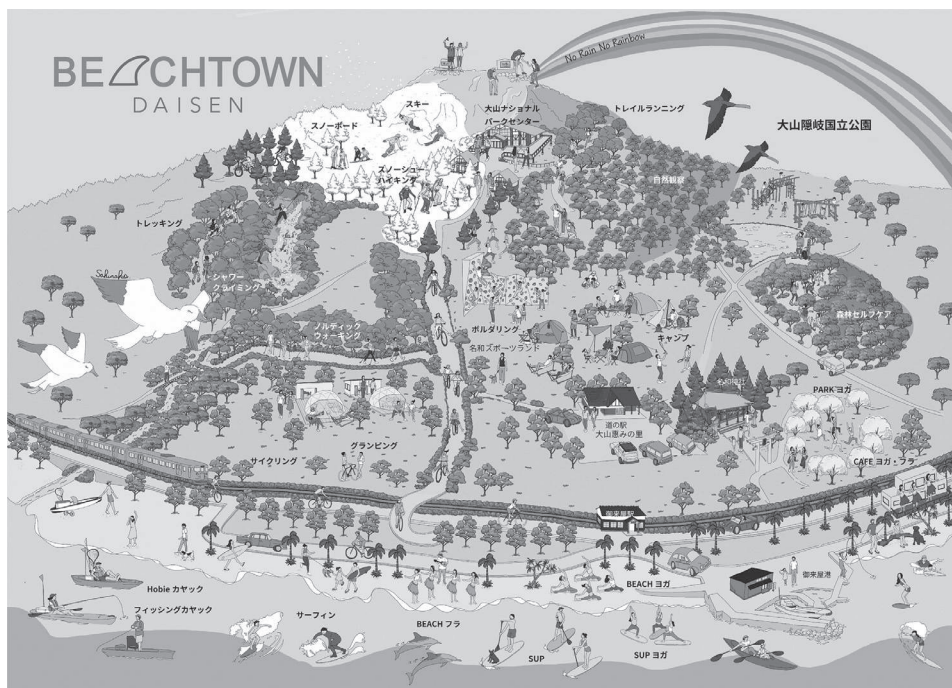


大山町 HP は
こちら▶

問 まちづくり課 ☎0859-54-5202

大山の自然の中で健康になる。

アウトドアアクティビティを体験! 「BEACHTOWN 大山」 2024 年 4 月 OPEN!



シーカヤック、SUP、SUP ヨガ、BEACH ヨガ、BEACH フラ、トレッキング、シャワークライミング、ノルディックウォーキングなど、大山町内の豊かな海や山でアウトドアライフをはじめませんか?

8 月末まで、マウンテンプログラム、オーシャンプログラムで大山町民割引も有ります。

☎ 050-1809-9317

体験の予約・
問い合わせは
こちらから



検索→ビーチタウン大山



地域を元気に！ 日本海新聞ふるさと大賞 2023

地域の活性化やスポーツ・文化活動の発展に顕著な功績があった個人・団体を表彰する「日本海新聞ふるさと大賞 2023」(主催：日本海新聞ふるさと創り事業団)の表彰式が、3月19日に役場大山支所で行われました。

『スポーツ文化功労賞』は、ペタンクの法橋登志子さんと、囲碁の宮崎拓郎さん(米子東高校3年・当時)が受賞されました。

『地域貢献賞』は、地域でのイベント実施や共助交通の取り組みなどを行っている地域自主組織「きらり光徳」と、およそ10年にわたって下校時の防犯パトロールに取り組んでいる、「名和地区青色防犯パトロール隊」が受賞されました。



受賞された皆さん

成人式実行委員募集します

令和7年1月3日に開催する成人式の後に行う交流会の実行委員を募集します。一生に一度の成人式。自分たちの手で作り上げてみませんか。

◆活動内容：式典後に行う交流会の企画・運営、記念品の選定など

◆会議の予定：令和6年10月～12月に、2～3回程度

◆お申込みは、電話または大山町ホームページから受け付けています。

20歳を対象とし、成人式を1月3日に行います

◆日時：令和7年1月3日(金) 13時30分開式

◆場所：保健福祉センターなわ

◆対象：平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方



※その他詳細が決定次第、大山町ホームページへ掲載します。

問・申 社会教育課

☎ 0859-54-5212

令和6年の実行委員の皆さん

農業委員の欠員 補充を行いました

農業委員会農業委員の欠員（2名）に伴い、新たに農業委員を任命しました。
任期：令和6年4月1日～令和8年7月19日



森田 博 文さん（富岡担当区域 平田、上方、富岡、安原、保田、あずみの郷）



濱田 厳さん（宮岡担当区域 旧奈和、下・上山、宮岡、渡道、栃原）

高等学校等に通学するための定期乗車券を購入した際は忘れずに申請してください

公共交通機関を利用して県内の高等学校等に通学する生

徒の保護者に対し、定期乗車券の購入費用の一部を助成しています。購入した定期乗車券の写しが必要ですので、購入後に写しを保管しておいてください。申請方法など詳細については、大山町ホームページをご覧ください。



0859・54・5205

全国大会に出場されたら お知らせください

スポーツや文化活動において全国大会に出場された場合、その功績を称え、次のような取り組みを行っています。

【全国大会出場看板掲示】

全国大会出場看板の作製・掲示を行っています。希望される場合は大会2週間前までに申請が必要です。

【全国大会参加派遣費補助金】

大会参加に要する交通費と宿泊費を補助します。
◆対象：全国大会に出場する個人、団体
◆補助率：1/2以内（上限あり）

※希望される場合はお早めに社会教育課までご連絡くだ

さい。

問 社会教育課
0859・54・5212

門脇家住宅 春の一般公開

江戸時代の趣を今に伝える門脇家住宅。今春の特別な催しへお出かけください。

〈期間〉 令和6年5月3日（金・祝）～5月6日（月・振） 10時～16時半

入館料 一般500円（各種割引有）

〈特別展示・企画〉

ゆみはま絨 嶋田の仕事・工房の仕事
関根理写真展 鳥鐵Ⅱ・鳥取の鉄道風景

〈5月4日企画〉

特別茶席（裏千家）足立宗隆社中による茶席（一服500円）
ぴあのうたライブ 松中啓憲
ピアノ弾き語り（チケット1,000円・予約限定30名17時開演）

〈5月5日企画〉

小さな青空蚤の市 「やまねの壺」出品
問・申 門脇家住宅
0859・53・4062

水中ウォーキング 第1期教室のお知らせ

町内にお住まいの65歳以上の方ならどなたでもご参加いただけます。

専門スタッフの指導により、プールの中で行う生活習慣病予防等に効果的な運動です。

開催日：5月21日～6月20日（全10回）

時間：13時30分～14時30分
申込期間：現在募集中（5月9日）

場所：JSS米子スイミングスクール（米子市米原4-1-13）

※送迎もあります。役場中山支所・名和公民館・大山口南口バス停

料 金：3,300円（10回分）
※欠席されても返金はできません。

問 長寿支援課
0859・54・5207

日野川総合水防 演習を行います

国・県・市、消防団、関係機関が連携し、日野川で洪水が発生した想定で総合的な水防演習を行います。

日時：令和6年5月25日（土） 9時30分～11時30分

場所：鳥取県米子市古豊干
主催：国土交通省中国地方整備局、鳥取県、米子市、鳥取県西部地区の市町村

一般の方も観覧可能です。また、参加型の水防工法体験や豪雨体験コーナー、展示コーナーを設けておりますので、是非ご来場下さい。詳細は以下のQRコードからご確認ください。



日本遺産「大山」

大山の見方が

変わる小話

第一号 鉄！鉄！鉄！

日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」の認定から8年が経ちました。ドリームカーフェスタが開催されるなど日本遺産に触れる機会は多くなりました。しかし、町民の皆様にもっと日本遺産のことを知って、大山の魅力に気付いていただきたいと思い、本号から毎月連載を行います。豆知識やクスッと笑える話、皆様の大山の見方が変わるような連載にしていきたいと思ひます。

日本遺産の構成文化財にもなっている、国指定重要文化財の鉄製厨子（てつせいすし）、意外と知らない方も多いようです。文化庁の「国指定等文化財データベース」を開くと、なんと解説文がありません。鉄製厨子、いったいどのようなものなのでしょう。

厨子とは、中に仏像や経典を納める容器のことです。大山寺所蔵の鉄製厨子は平安末期の承安二年（1172）に造られました。中には地蔵菩薩像が納められました。これらの情報は厨子に取り付けられていた4枚の銘板から分かります。銘板は承安三年

（1173）に造られたと考えられています。この厨子はその名の通り、鉄で出来ており、鑄造（ちゅうぞう）で造られています。実は、製作年代が記されている日本最古の鉄鑄物という貴重な品物です。また、銘板の文字には、銅を溝にはめ込む技法、銅象嵌（どうぞうがん）が使用されていることが分かっています。平安時代の象嵌作品は日本に数例しかなく、これまた貴重なものであることが分かります。

当時高価な鉄をふんだんに使った厨子が製作可能だった秘密は、ここ、伯耆国にあります。『延喜式』に伯耆国の税として鉄が登場するなど、古くからこの地では鉄の生産が盛んでした。

また、伯耆国の良質な鉄は、平安中期に稀代の名工を生みます。天下五剣のうちの「童子切安綱」の作者、安綱は伯耆国の出身です。伯耆国ではその後も刀の生産が続く、技術に応用した物が大山寺には残されています。



国指定重要文化財 鉄製厨子
(大山寺霊宝閣所蔵)



県指定保護文化財 鉄燭台
(大山寺霊宝閣所蔵)

す。県指定保護文化財の鉄燭台（てつしよくだい）です。燭台はロウソクを立てる台で、仏間の灯りとして使用されました。室町末期の2基の燭台はいずれも鍛造（たんぞう）によって造られています。鍛造は型に流し込む鑄造とは異なり、叩いて成形する造り方です。中世の鉄鍛造の燭台は数点しか見つかりません。また、西日本では唯一の例です。使用場所も書かれており、工芸史的にも大山寺の歴史的にも重要な資料です。

伯耆国の鉄生産は大正時代まで続く一大産業でした。地蔵信仰と共にあった大山周辺地域は、鉄の文化とも共にあり続けたのです。

編集・商工観光課



日本遺産



<http://daisen-japan-heritage.jp/> <http://daisen-japan-heritage.jp/>

広告

大山町のケーブルテレビ

大山チャンネル



CATV113ch 朝から夜まで毎日放送中



◆訪問鍼灸リハビリなら◆

晴れ海鍼灸院

院長 鳥本 悠介

営業時間 平日9:00～18:00
(土・日・祝休み)

TEL/FAX:0859-57-6220

〒689-3211

鳥取県西伯郡大山町御来屋988-7

Mail: halekaishinkyuin@gmail.com

HP : <https://www.halekai-shinkyuin.com/>

リチウムイオン電池などの適正処理にご協力ください

近年、ごみ処理時に、リチウムイオン電池が原因の火災が多発しています。

リチウムイオン電池は、その軽量さや電気を大容量に蓄える性質を持っているため、携帯電話、スマートフォン、ノートパソコン、コードレス掃除機など身近な家電製品に使用されています。

一方、リチウムイオン電池は、破損や変形により発熱・発火する危険性を有しており、不燃ごみや不燃粗大ごみの中に残されていると、その処理過程において発火し火災となることも多数報告されています。

町では、リチウムイオン電池のような「小型充電式電池」の回収ボックスを、大山・名和・中山公民館に設置しております。また、事前に連絡の上、名和クリーンセンターに持ち込むこともできますのでご利用ください。

また、家電製品の中には小型充電式電池を取り外すことができない製品もあります。無理やり取り外すことは危険ですので、電池一体型の家電製品は大山・名和・中山に設置された「小型家電回収ボックス」に出すか、事前連絡の上、名和クリーンセンターに持ち込んでください。

リチウムイオン電池を廃棄する場合は、上記の方法で適切な廃棄をお願いします。

○鳥取県西部広域行政管理局リサイクルプラザ(不燃ごみ、不燃粗大ごみの処理施設)における火災発生件数の推移

年 度	R1	R2	R3	R4
発生件数	138	146	256	250
1日当たりの発生件数	0.93	0.91	1.27	1.42
原因	リチウムイオン電池など	128(93%)	127(87%)	230(90%)
	ガスボンベ	9(6%)	17(12%)	24(9%)
	ライター	1(1%)	2(1%)	0(0%)

問 住民課 ☎ 0859-54-5210



はい！消費生活相談窓口です

くらしに役立つ情報や最新の消費生活トラブルをお伝えします。
知っておくと適切な対応ができます。

県内でも詐欺の被害が後を絶ちません。



電話やメールなどでお金のお話が出たらご用心！

～特殊詐欺の手口いろいろ～

★ATMで還付金は受け取れません！

役場の年金担当を名乗る職員から、**年金の払い戻しがある**との電話があり、ATMでの手続きを案内された。携帯電話で操作方法を聞きながら画面操作をしたところ、他人名義の口座にお金を振り込んでしまっていた。



★身に覚えのない請求は無視！

スマートフォンに「利用料金未納に関するお知らせ」というショートメッセージが届いた。心当たりはなかったが、記載されていた連絡先に電話すると、**未納料金があり、支払わなければ裁判**になるとのこと。コンビニで電子マネーを購入するよう指示され、カードの裏に書かれている番号を伝えてしまった。

★お金を受け取るために費用請求されたら詐欺かも！

高額賞金に当選したとのメールが届いた。申し

込んだ覚えはなかったが、賞金を受け取るために手続きサイトに進み、手続き費用を電子マネーで支払った。

その後も様々な名目でお金を支払わされたが、当選金が受取れない。



★暗証番号は教えない！

キャッシュカードは渡さない！

警察を名乗る電話があり、**銀行口座が悪用されている**と言われた。後刻、銀行職員を名乗る人がキャッシュカードの確認にきた。カード情報を更新すると言われ、カードを預けて暗証番号を伝えていたら、口座からお金が引き出されてしまった。

面識のない人からお金のお話が出たら、まずは詐欺を疑い、周りの人や警察、消費生活相談窓口などに相談しましょう

お気軽に消費生活相談窓口をご利用ください

消費者ホットライン ☎ 188 (平日は大山町役場住民課につながります)

大山の恵みの里だより vol.187



山菜のシーズン到来

たけのこ、はちく、わらび、ぜんまい、こしあぶら、タラの芽、など、道の駅にも多くの山菜が並びます。

公社のオリジナル商品の「大山おこわ」に山菜を入れて炊くと、更に美味しくなります。ぜひお試しください。

「大山おこわ」は発売以来、5千個以上販売しました。100年フードに認定されていることや、炊飯器で手軽につくることができるなどが要因であると思います。多くのリピーターの方もいらっしゃいます。また、お土産に買って帰られる観光客の方など公社ブランドの人気商品の一つです。



▼恒例のサンデーマルシェ

5月19日(日)

午前9時から午後1時

場所 道の駅大山恵みの里

※荒天の場合は中止することがあります。

☎0859・54・6030

なかやま温泉だより

◆なかやま温泉 ☎0858-49-3330

こんにちは。なかやま温泉ゆーゆー倶楽部ナスパルです。あっという間に桜の花がどこかへ行き、すがすがしい新緑の葉に変わり、爽やかな風と暖かな日差しが肌に触れる季節になりましたね。中山温泉にゆったりつかり身体をほぐし、春を満喫してみませんか。

【5月イベント情報】

『中山温泉朝市』5月5日(日) 9時～11時半

出店者募集中!! 初回出店料/無料・2回目以降500円
大山ジビエ振興会、コーヒー、クレープ、占いなど多くのお店が出店。中山温泉からは大好評の『境港産干物』の販売も実施します。

『ナスパルシアター』5月18日(土) 10時・14時の2回上映 映画『その鼓動に耳をあてよ』

地域の頼みの綱の役割も果たす名古屋掖済会病院の救命救急センターでは、『断らない救急』を掲げ24時間365日、多くの救急車を受け入れている。そんな中、新型コロナウイルス感染症のパンデミックで患者が押し寄せ病床は逼迫する状態が生まれていた。

【ご利用案内】

営業時間 10時～21時(20時30分受付終了)

休館日 毎月第2月曜日

料金 大人500円 小人250円

○お得な回数券、ポイントカードもございます。

○メンズデー/毎週金曜日…ご入浴の男性ポイント2個

○レディースデー/毎週水曜日…ご入浴の女性ポイント2個

救急救命の実情をそのまま映し出し、そこで働くスタッフたちの一部始終を切り取ったドキュメンタリー。

【料金】大人1,000円 中学生以下500円 未就学児無料

『ぐりぷらひろば』5月25日(土)・26日(日) 10時～17時

【料金】一人300円(2歳以下無料)

広い場所でたくさんのレールトイでいっぱい遊べる大人気イベントです。

大人も楽しめるリラクゼーションやワークショップ、グルメ、スイーツのお店も出店。



『お風呂の日』5月26日(日)

ポイント5個プレゼント!!



町長の「余白に書かせて!」

～episode 65～

大山町長 竹口 大紀

県外のコミュニティラジオ局からの依頼で番組に出演し、大山町の取り組み事例などをご紹介させていただきました。無料で県外の有識者等にPRする機会をいただき、とても感謝しています。

番組名は、FM 軽井沢の「軽井沢ラジオ大学」。持続可能な社会の実現や、社会課題の解決に役立つ知見を紹介するというテーマのトーク番組です。

大山町内で収録されたこの番組は、すでに軽井沢周辺エリアで放送されましたが、インターネットにバックナンバーがありますので、お時間のあるときにぜひお聴きください。



バックナンバーはこちらから▲



だいせんと ワタシ

Voice. 010

もりた けい
森田 圭さん

《自営業》

～このまちで暮らす・働く・そして好きになる～



こどもたちが
安心して過ごせる環境の中で
主体性や意欲の土台を
育んでいく

大山町で生まれ育った森田さん。大学進学や就職のため県外で生活を送っていましたが地元に戻りたいという気持ちは常に持っていたそうです。

こどもの頃から自然豊かな環境の中、同年代の友達から地域の大人まで幅広い年代の人と関わりながら育ったという森田さん。見守ってくれる人たちが居る安心感の中で「自分なりに考えてチャレンジしてみる」という経験ができたそうです。失敗する事もあったそうですが、その積み重ねのおかげで今の自分があると言います。このような「一人ひとりにとっての豊かな経験」を地元大山町のこども達に伝えていければという思いで「モリタフレンドスクール」を立ち上げました。

通称「モリフレ」はいわゆる学習塾とは異なります。その日に何をするかを決めるのはこども自身です。勉強をする子、絵を描く子、遊ぶ子とさまざまですが、こども自身が意思決定した事をまずは尊重してあげる事が大切です。

「見守る」のは勇気のいる事です。その中でこどもの主体性や意欲の土台となるものが育まれていくのではないかと。また、「〇〇でなければならない」と枠を決め過ぎず、「〇〇でもOK」という多様な考え方や寛容な空気が、こどもたちの安心感にも繋がるのではないかと考えられています。

森田さんがこどもと接する時に心がけていることは「伴走」です。一方的に正しいと思われる方向に導こうとするのではなく、こどもの意思を中心にしたサポーター。たとえ遠回りになったとしてもたくさんの“自分なりの経験”に触れて欲しいと言います。

そういったプロセスを今後も大切にしていきたいと語ってくださいました。



みんなで田植えをした様子

料理にも挑戦